

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 アンジュールともの家

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

永和 淑子

評価完了日

平成 19 年 11 月 14 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年1月7日

【評価実施概要】

事業所番号	3890100104		
法人名	社会福祉法人ワーカーズコレクティブとも		
事業所名	アンジュールともの家		
所在地	松山市溝辺町甲94 (電話) 089-977-8502		
管理者	永和 淑子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-19 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年11月27日	評価確定日	平成20年1月7日

【情報提供票より】 (平成19年11月15日事業所記入)

(1) 組織概要					
開設年月日	平成17年4月27日				
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人		
職員数	9 人	常勤	8人, 非常勤 1人, 常勤換算 8.2人		
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)					
家賃(平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる		
敷金	有() (100,000 円) 無				
保証金の有無(入居一時金含む)	有() () 円	有りの場合償却の有無	有 / 無		
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円	
	夕食	400 円	おやつ	円	
	または1日当たり			円	
(3) 利用者の概要 (平成19年11月15日現在)					
利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名
要介護1	0 名	要介護2	1 名		
要介護3	2 名	要介護4	2 名		
要介護5	4 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85.5 歳	最低	72 歳	最高	95 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算					
指定	あり・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護			
指定	あり・なし	指定認知症対応型通所介護			
届出	あり・なし	短期利用共同生活介護			
加算	あり・なし	医療連携体制加算			

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

定期的に「ともの家だより」を発行し、事業所の取り組みや利用者の様子、職員の異動等についてご家族に報告されている。ご家族の来訪時には、個人の記録等を見ていただきながら、暮らしぶり等をお話しされている。又、インターネットのブログに、事業所の毎日の様子を綴っておられる。
 職員は、日々の介護実践に基づいた論文を応募し、最優秀賞や奨励賞等を受賞された。
 事業所では、ご家族もケアカンファレンスに参加し、意見等を出していただいている。介護計画を「幸せ計画」と捉え、利用者の自信の回復や意欲等につながるよう、生活歴を踏まえた利用者主体の介護計画を作成されている。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・前回の評価結果を受け、改善計画を作成し、緊急時の対応や災害対策、地域との交流等に取り組みました。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・自己評価は、職員個々に評価項目を分担して取り組み、さらに職員会議時に職員全員で検討し作成された。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・運営推進会議では、活発な意見交換がなされている。防災に関してのご家族の意見により、地域の方達に参加していただいて防火訓練を実施された。民生委員の方からご要望があり、職員が地域のふれあいセンターで認知症について講話された。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・家族会は、ご家族が自主的に運営されており、「家族のひろば」という便りを定期的に発行し、事業所は積極的に情報を提供されたり、取材に応じておられる。ご家族から職員の異動や離職について報告してほしいとの意見があり、その都度お伝えされている。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・事業所では、毎月第三日曜日にバザーとロビー展を開いておられる。バザーでは、職員やご家族の手作りの柏餅や炊き込みご飯、古着や有機野菜等を販売し、地域の方にも好評である。ロビー展に出品された利用者もおられ、近所の友人も見に来られた。又、小学生の登下校時の見守り隊のメンバーとして、利用者も職員と共に活動されている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 利用者サービスの基本方針の中で”家族・友人・地域との交流を大切にし、社会性の維持・回復に努める”とかけている。バザー・見守り隊などを通じて地域との交流を大切にしている。		
			(外部評価) 事業所の理念に沿って、年を重ねても利用者が地域の中で「その人らしい普通の生活」を実現できるよう取り組んでおられる。		管理者は、今後も時間をかけて地域に働きかけ、さらに地域社会に開かれた事業所を目指して取り組んでいきたいとのお考えを持っておられた。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 運営理念と基本方針を目につきやすいところに掲げ、これを念頭において、日々の介護をおこなっている。介護現場でスーパーバイズを受け、日々の介護のふりかえりをする機会をもうけている。		スーパーバイザーが数日間泊まりこみ、ともに過ごし指導をいただいている。
			(外部評価) 管理者は、職員会や研修会時等に、日々の実践を振り返りながら事業所の理念に基づき、介護の意義や価値について職員に話しておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 広報を家族や地域のかたに送り、理念・活動を報告することで理解してもらえるよう努めている。高島屋デパートで暮らし写真展を家族の方々と協力して開催した。		グループホームの暮らし写真展を叱' -展で開催した。今後も地域の郵便局や銀行などで写真展を開催していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 地域の方に事業所のことを認識していただいており、散歩や理美容店利用、買い物などを通して日常的な交流ができている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会に加入しており、行事・イベントに地域の一員として地元の人と交流することに努めている。7月より班長となり町内会費の徴収、広報などの回覧、集会所の清掃当番などの業務を通じ交流を深めている。 (外部評価) 事業所では、毎月第三日曜日にバザーとロビー展を開いておられる。バザーでは、職員やご家族の手作りの柏餅や炊き込みご飯、古着や有機野菜等を販売し、地域の方にも好評である。ロビー展に出品された利用者もおられ、近所の友人も見に来られた。又、小学生の登下校時の見守り隊のメンバーとして、利用者も職員と共に活動されている。10月に、高島屋デパートで写真展を開催し、多くの方の来場があった。		来年の2月のロビー展には、地域の中学生の書道や絵画等の作品を展示する予定となっている。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 社会交流をかねて、職員が公民館などに出向き、健康講話などを行っている。		地域の相談所になればと思っている。トラブルがあったときには緊急避難場所ともなりたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価の受審を日々の実践の振り返りのときととらえ、自己評価を行っている。指摘を受けた点については話し合いの場を持ち改善に努めている。 (外部評価) 自己評価は、職員個々に評価項目を分担して取り組み、さらに職員会議時に職員全員で検討し作成された。前回の評価結果を受け、改善計画を作成し、緊急時の対応や災害対策、地域との交流等に取り組まれた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議で出された意見を職員等で話し合い、課 題を共有してサービス向上に生かしている。推進会議 でご家族より火災発生ときは家族よりもご近所 の方々の協力が第一と提案があり、防火訓練をご近所に 案内し参加をお願いした。		
			(外部評価) 運営推進会議では、活発な意見交換がなされている。 防災に関してのご家族の意見により、地域の方達に参 加していただいて防火訓練を実施された。民生委員の 方からご要望があり、職員が地域のふれあいセンター で認知症について講話された。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価) 11月3、4日当法人の開催した“社会福祉の原点と 地域密着サービスシンポジウム”に介護保険課より出 席があり、分科会で意見交換した。		
			(外部評価) 地域包括支援センターから依頼があり、職員が講話さ れた。市の生活保護課の方の依頼で、近所の一人暮ら しの高齢者を一晩お泊めし、食事を提供されたことも ある。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価) 研修会などで制度についての知識を深めている。支援 の必要性を関係者と話し合い、いつでも活用できるよ うにしている。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員全員が虐待に対して人権侵害であるとの意識を もって防止に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用相談があったときは時間をかけ、施設見学、体験入所などお勤めし慎重に対応している。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご家族の来訪も多く、その機会にご一緒にお話をうかがうようにしている。		日常の会話の中から、意見、不満などお聞きしている。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 各担当者が毎月“今月の生活の様子”を書き、費用請求時同封している。金銭管理も定期的を確認していただいている。 (外部評価) 定期的に「ともの家だより」を発行し、事業所の取り組みや利用者の様子、職員の異動等について報告されている。ご家族の来訪時には、個人の記録等を見ただきながら、暮らしぶり等をお話しされている。又、インターネットのブログに、事業所の毎日の様子を綴っておられる。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議や家族懇談会を開催しサービス改善アンケートの実施など意見を出していただける機会を設けている。また家族の会があり、役員を通じての意見表出もあり歓迎している。 (外部評価) 家族会は、ご家族が自主的に運営されており、「家族のひろば」という便りを定期的に発行し、事業所は積極的に情報を提供されたり、取材に応じておられる。ご家族から職員の異動や離職について報告してほしいとの意見があり、その都度お伝えされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 将来構想委員会を設け意見や提案を聞く機会を作っている。必要に応じて理事・職員の合同研修会や意見交換会がもたれ現場の意見を尊重している。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の状況、状態の変化に応じて必要な時間帯に職員を配置したり勤務の調整に努めている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 離職や異動については、入居者へのダメージが最小限となるよう新職員の配置を考えている。		新旧職員の交代がスムーズにいくよう引継ぎ、実習期間をダブルキャストで組んでいる。
			(外部評価) 職員の離職や入れ替わりはあるが、利用者のダメージが抑えられるよう配慮しておられる。		管理者は、今後さらに、職員個々と面談する機会を積極的に作り、それぞれが抱える悩みや課題を解決できるよう取組みたいと考えておられた。
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修委員会を設けて法人内の研修を充実させている。また、新人職員、中堅職員の段階に応じて実践研究発表の機会を設けている。		懸賞論文への応募を奨励している。
			(外部評価) 日々の介護実践に基づいた論文を応募し、京都市や豊橋市主催のフォーラムにおいて、それぞれ最優秀賞や奨励賞等を受賞された。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			社会福祉とは何か、現状について問題意識をもち、グループホームの役割、サービスの質についてもともに考えていきたいと全国シンポの案内を送付した。見学や相互訪問を受け入れ、課題など話し合っている。		地域包括支援センター主催で地区グループホームの意見交換会が持たれた。今後勉強会などよびかけていきたい。
			(外部評価)		
			県内外の事業所とシンポジウムを共催される等、同業者と共に考え学び、サービスの質の向上に向けて取り組んでおられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			職員互助会による職員の歓送迎会や忘年会をもち、親睦を図っている。また、随時、個人面談を行い、悩み、相談ごとなどを聞いている。よきチームワークが形成されるよう理事長よりのアドバイスを受けている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			資格取得や懸賞論文の応募を奨励し、県内外の研修案内を掲示板に貼りだし参加希望者がいれば勤務表を工夫し参加できるよう全員が協力し合う体制となっている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入居前に何度か話し合い、できるだけ求めていることを聞き出せるよう努力している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居前に何度か話し合い、できるだけ求めていることを聞き出せるよう努力している。十分に聞く機会をもっている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) まず必要としている支援を見極め対応している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 併設のデイサービス利用を経て、或いはご家族と一緒に体験宿泊を試みてからの入居など、色々な対応を工夫している。入居されてからしばらくは環境への変化に慣れるよう、ご家族の協力を得ながら無理強いせず他の入居者ともなじめるよう声掛けしている。		
			(外部評価) 入居間もない方が馴染めるようご家族に泊まっていたく等、工夫されている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 夜勤時、眠れない入居者さんとゆっくりお茶を飲んで話を聞いたり添い寝したりしている。日常の触れ合いの中で言葉、表情、行動などから学ばせられ、支えられていることを実感している。		
			(外部評価) 職員は、利用者からお花の名前や生け方、俳句等を教えていただくことがある。時には、働く態度や心構えについてアドバイスして下さることもある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族をケアパートナーとして位置づけている。ご家族の思いを大切にし、一緒に過ごす時間を持っていただいている。		日曜叱' -展、バザーの時入居者と家族と一緒に売り手になってもらったり、喫茶コーナーの手伝いをしてもらっている。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) セター方式のシートを導入し、本人と家族からできるだけ情報を得て本人とご家族の関係の理解を深めよりよい関係となるよう支援している。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 家族とともに故里訪問したり、馴染みの人にホームに来ていただいている。馴染みの場を訪れる機会もご家族の協力を得て作っている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 居室に閉じこもりがちで「おーいおーい」と誰かを呼ばれる入居者の居室を訪れてくださる方がいたり、誕生会には色紙にお祝いの言葉を書き贈呈、祝辞のスピーチ、歌などともに暮らす喜びを感じている。また日常の中でも一緒にできる作業やゲームの機会を作っている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院により退去されたご家族や亡くなられた方のご家族が一人であると淋しくてとフラッと遊びに来られ、他の入居者とお茶を飲んでお話されることがある。		ともの家だよりや、各行事の案内を送付しいつでも気楽に来ていただける関係を継続する。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1.一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価) 入居時と、入居後は随時本人又はご家族と話をして把握するよう努めている。集めた情報はスタッフ間で共有できるようにファイルしケアプラン立案時などに生かせるようにしている。</p> <p>(外部評価) ご家族の協力も得ながら、一人ひとりの思いや希望、生活歴を把握し、センター方式のアセスメントシートに記録、蓄積されて職員で共有されている。</p>		
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価) ご本人や家族にお聞きし、情報シートを作成し、スタッフ間で情報を共有できるよう個人別にファイルしている。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価) 日々暮らしの現状を観察し、記録に残した職員間で連絡を取れるようにしている。</p>		
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 介護計画作成前にはご本人、ご家族などから意見を聞き、それをもとにスタッフ間で話し合った後作成している。</p> <p>(外部評価) 事業所では、ご家族をケアパートナーと位置付けておられ、ケアカンファレンスに参加し、意見等を出していただいている。介護計画を「幸せ計画」と捉え、利用者の自信の回復や意欲等につながるよう、生活歴を踏まえた利用者主体の介護計画を作成されている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			期間に応じて見直しを行っている。見直し以前に変化が生じた場合には新たな計画を作成またはショートケアプランを作成し現状に沿うようにしている。		
			(外部評価)		
			毎日、介護計画に沿った支援ができているかケアプラン実施表で確認されている。3ヶ月ごとの見直しと状態変化に応じた随時の見直しを行っておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			関わったそれぞれのスタッフが個別記録に適時記入し、情報を共有し生かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			本人、家族の状況、その時々要望に応じて外出、外泊、受診、ご家族の泊まりなど柔軟に対応し支援している。		
			(外部評価)		
			利用者が併設のデイサービスのレクリエーション等に参加される際には、職員が付き添われる等、柔軟に支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 必要に応じて警察、消防署、小学校、中学校、ボランティア、民生委員の協力を得ている。見守り隊として地域に貢献できる役割もいただき、満足している。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 家族の意向により、併設のデイサービスの集団レクレーションに参加している。パッドや福祉用具購入のため他の事業者との話し合いはするが、他のサービスを利用している入居者は少ない。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 本人と家族の関係が密接かつ良好であり、必要性は目下ない。		地域包括支援センターとの協働について考えてみたい。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人および家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している。	(自己評価) それぞれ本人や家族の希望に添ったかかりつけ医を選んでいただき、それぞれと連絡を取りながら関係を築き、個人に合った適切な医療を受けられるよう支援している。 (外部評価) ご家族やご本人が希望される病院を受診できるよう支援されている。医師からのアドバイス等は、医療情報として記録されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	自己評価 各人の必要に応じて、協力医療機関の精神科医を受診し、相談や治療を受けている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) ホームには通常週三日看護職員が勤務し健康管理に当たっている。緊急時には24時間相談ができる体制をとっている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 認知症という病気をかかえての入院となるため、病院関係者、ご家族と情報交換し安心して過ごせるため退院について十分な相談を行い、連携している。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 管理者、看護職らが中心となり、話し合いをもちその情報を記録に残し、また会議でスタッフ全員で方針を統一していくようにしている。 (外部評価) 入居時に、看取りや終末期の対応について説明し、家族懇談会時にも話し合われている。状況に応じて、ご家族、訪問看護や医師と連携し、支援されている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 看護職を中心にかかりつけ医との連携を取り、支援に取り組むまた今後の変化に備えている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) リロケーションダメージについては、ご家族及び本人に関わるケア関係者間とで十分に話し合い、なじみの家具、品の持ち込み、住み慣れた居室作り、雰囲気などダメージを防ぐ(最小限にする)工夫や、配慮をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) ともの家の接遇態度、援助のチェックポイントで明示し職員はそれに基づき一人一人の思いや言動を大切にされたサービスの提供を行っている。個人情報については家族以外への公開はしていない。</p> <p>(外部評価) 職員は、利用者と同じ目線で丁寧な言葉遣いをされていた。調査訪問時、歩行器を使って移動されている方に、「ゆっくりでいいですよ」とやさしく声かけされていた。</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) 自己決定の場面を作り出し、本人の意向、希望を大切にしている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) 生活面すべてにおいて一人一人のペースを尊重し、暮らしの主体者として入居者が自由に自分らしく生活できるように援助している。</p> <p>(外部評価) 昼食を終えた後、職員と心ゆくまでお話を楽しまれていたり、こたつに入ってくつろがれる方、居室で過ごされる方等、思い思いに過ごされていた。調査訪問時、利用者の方が3時のおやつをもてなして下さった。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 個性を大切にしながら洋服を選んでいただいたり、整容に気をつけている。外出時は普段よりおしゃれに心がけている。本人の行きつけの店に行っていたりしている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一緒に食事をし、お話をしたり音楽を聞きながら食事をしている。できる方には準備、片づけを手伝っていただいている。		
			(外部評価) 利用者ができるだけ目で見て食事を楽しめるよう、調理法や盛り付けを工夫されていた。料理の得意な方は、野菜の皮むきや味見等をされている。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 入所時に頂いている情報をもとに、また日々の中での本人からの情報を元に、一人一人の嗜好に合った食事を提供している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 全職員が排泄パターンを把握しており、入居者に合わせたトイレ誘導を行っている。昼間、夜間、できるだけ布パンツにして自立に向かった支援をするとともにその方に合わせた排泄用具を検討し使用している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入居者の希望やペースにあわせてくつろいだ入浴を心がけている。		
			(外部評価)		
			入浴時、利用者は、職員とお話されたり、好きな歌を職員と一緒に歌う等、リラックスして入浴できるように支援されている。又、安心して入浴できるよう、必ず言葉かけをされてから一つひとつの介助動作を行うようにされている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中運動や活動の場をつくり、また日光浴や外気浴を心がけ、夜安眠できるよう支援している。入居者が落ち着けるようにソファや畳で寝転んだり、心身を休めるよう支援している。		
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			一人ひとりできること、できないことを把握し、持てる力を発揮していただく支援をしている。		
			(外部評価)		
			職員と共に吊し柿を作り、熟すのを楽しみにされている。収集した切手を見せて下さる方がおられる。時には、職員が弾くピアノに合わせて歌を歌って楽しめることもある。利用者同士でいたわり合う姿等もうかがえた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			管理不能な方が多いが、可能な方にはご家族と話し合い、小額でも準備していただき買物を楽しんでいただいている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			本人の希望に添い、いつでも外出できるように支援している。希望を表明されない方には声かけしてお誘いしている。		
			(外部評価)		
			散歩や近所の店に買い物に出かけておられる。菊花展に行かれたり、春には、ご家族も一緒に一泊旅行に出かけられ、利用者全員で楽しい旅を満喫された。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			春の花見、夏祭りへの参加、遠足、菊花展など季節を楽しんだ小旅行、ドライブに出かけている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			いつでも利用できるよう支援している。希望者には居室に電話をもっていたいでいる(携帯電話)。手紙が来た時には返事を出すよう支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			家族もともにケアを行っているので、いつでも訪問できるようにしている。知人、友人の訪問も快く応対し茶菓子など接待している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関に鍵をかけることを含め、拘束はいっさいしていない。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間施錠のみ。外出傾向のある方には付き添い、一緒に散歩している。		
			(外部評価) 日中は鍵をかけず、自由に出入りできるようになっている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 所在確認を心がけ、職員相互に声掛けし、さりげなく見守りの徹底をしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 薬品に関しては手の届かないところにおくようになっているが、その他は排除してしまうのではなく、危険でないよう入居者の動きをさりげなく見守っている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故をなくすために職員研修を行うとともに、起きてしまった事故については事故報告書を提出し、再発防止策の徹底をしている。また所在確認、見守りを行っている。場面を想定した防火訓練も実施している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 講師を招いて研修を行った。スタッフの中に看護師がいるので平日頃より応急手当の研修を受けている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的に防災訓練を行っている。消防署の方が来られての訓練には地域住民への訓練実施のお知らせをし、民生委員にも参加していただいた。 (外部評価) 事業所では、毎月25日を防災の日と決め、自主避難訓練をされている。避難に要する時間を計ったり、様々なケースを想定して実施し、防災意識の向上を図っておられる。		管理者は、今後、地域の防災訓練に参加したいと考えておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 多動による転倒など、一人一人に起こりうるリスクについて家族に説明し、抑圧しない暮らしを大切にしたい対応策について話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 異変が見られた時にはすぐに連絡し、対応を相談している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬ノートを作成し、職員はその都度把握している。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 牛乳、ヨーグルト、アロエなどその人に合わせたものを朝食時に試みている。便秘に効果のある自然食品情報の共有。水分の取りにくい方にはゼリーとして水分補給ができるよう工夫し、自然排便に努めている。また午前中の活動も心がけている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後の歯磨き、うがいをしていただいている。利用者の状態にあわせて義歯の手入れを一人一人にあった道具でしている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量の把握をし、量が確保できていない方に関しては補食をしていただいている。こまめに水分の提供も行っている。 (外部評価) カリウム摂取に制限のある方には、温野菜にしたりリンゴを煮る等、配慮されている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 研修会で感染症に対する学習を行い実行している。手洗いうがいの励行。（外出時、食前）		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>常に清潔に努め、使用した道具の熱湯消毒やハイター付けを行っている。食材は旬のものを使用し、新鮮なものを提供している。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>道路から高い位置にあるため玄関に至るまで上り坂がある。勾配が急であるため手すりをつけた。愛犬クロは入居者にとっては癒しであるが大きな身体で番犬として訪問者には吠えるので怖がる人もいるかもしれない。ただし性格は穏やかで入居者家族には吠えない。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食堂のテーブルにはテーブルクロスをかけた花を飾り、時間に合わせた音楽を流すなどの工夫をしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>共用空間はゆったりとしており、ぬくもりが感じられるようにむくの天然木を使われており、薪ストーブが設置されている。昔懐かしい足踏みミシンやみずやが置かれていた。リビングから見える庭のコスモスや裏山の紅葉が季節の移ろいを感じさせてくれる。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>リビングの各所にコーナーを設け、居心地の良い場所作りをしている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			家族と相談し本人が落ち着け居心地良く過ごせるよう、ラジオ、画集、仏壇、椅子、机など揃えて工夫している。		
			(外部評価)		
			畳の居室もあり、鏡台やテレビ等が置かれ、思い出の写真やお孫さんが描いた絵、亡きご主人のネクタイ等を飾っておられる方もおられた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			換気はこまめに行い、季節に合わせて空調の調節をし、快適に過ごせるよう支援している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			トイレ、浴室、廊下などは必要ところに手すりを取り付け、適切な椅子を置いている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			浴室、トイレには見分けられるようなのれんやプレートを居室には表札をはっている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			外周りに花や野菜を植え、季節を感じられるようにし、手入れなども入居者とともにしている。また収穫の喜びも共有している。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	アセスメントはセンター方式のシートを使いケアプラン作成にいかしている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	声のトーンや音に注意し、騒音とならないよう心がけて穏やかにゆったりと暮らしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	それぞれの個性的なペースをもたれており、そのペースが尊重されている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	かかわりで、会話や笑顔がうまれている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	時間や天候に注意しつつできるだけ戸外で過ごし、戸外がもたらす効果を十分に満喫している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	服薬管理と定期受診、看護師による医療相談などにより、不安なく過ごされている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	本人のペースや意向が尊重され、無理じいされない。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	信頼関係ができしており、なんでも相談されている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	家族の方々の訪問がある。知人や友人はときおり、地域の方は用があるときのみであるが。

項 目	取 り 組 み の 成 果 (該 当 す る 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)	判 断 し た 具 体 的 根 拠	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価)	1 大いに増えている ② ② 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	民生委員さんが話してくれウエス用の布や寝具を持参して下さった近所のかたがいた。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価)	① ① ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	笑い声が絶えず、楽しそうにかつまじめに取り組んでいる。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価)	① ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ゆったりと自由に暮らされているようで、会話や発語がおおくなっている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価)	① ① ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	職員の名前を覚えており、何かにつれ協力してくださっている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

アンジュールともの家のアンジュールとはフランス語で1日という意味である。いつかは来る別れのその時まで、1日1日が満ち足りた”日々是好日”の時間でありたいとの願をこめています。本人の意向や家族のおもいを大切に、新しい出会いも楽しみながら人生を生ききっていただきたいものと思います。ただ、開設3年目を迎え入居者の方たちは嚙下困難など重度化されました。今後は重度化された方々のケアについて力をいれてとりくまねばと考えています。